

(要領様式第5号)

研修カリキュラム

年度	令和8年度
分野	幼児教育
実施機関	一般社団法人保育のデザインアドバンス

	研修名	講師名	内容	研修形態	時間	総時間数	開催日程	会場	定員
1	幼児教育の意義 (幼児教育の意義)	白梅学園大学 名誉教授 無藤 隆	要領・指針には、世界の研究や知見をふまえ、目の前の子どもたちの「姿」をどのように捉え育んでいくべきか、重要なメッセージが込められているということを解説している。	講義(eラーニング)	1時間25分	15時間20分	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月15日	パソコン スマートフォン タブレット	1,500人
2	幼児教育の基本 (幼児の発達に応じた保育内容)	株式会社保育のデザイン研究所 上席研究員 川辺 尚子	平成29年改訂(改定)の指針や要領に示されている重要なキーワード「主体的・対話的で深い学び」や「環境を通して行う保育」について、事例を用いて解説している。	講義＋演習(eラーニング)	0時間54分		令和8年4月1日 ～ 令和9年3月15日	パソコン スマートフォン タブレット	1,500人
3	発達をふまえた保育(3～5歳) (幼児の発達に応じた保育内容)	株式会社保育のデザイン研究所 上席研究員 川辺 尚子	発達をそのプロセスと捉え、保育者は5領域を通して、子どもの学びを読み取ることが大切である。事例を通して5領域を、さらに「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を日常的な散歩の子ども姿を基に解説している。	講義＋演習(eラーニング)	1時間4分		令和8年4月1日 ～ 令和9年3月15日	パソコン スマートフォン タブレット	1,500人
4	幼児の世界(豊かな遊びの展開) (幼児の発達に応じた保育内容)	子ども教育宝仙大学 准教授 利根川 彰博	保育者は子どもの豊かな想像力や思いに共感し、受け止めながら保育を行っているか。改めて保育者のあり方を振り返る内容である。	講義＋演習(eラーニング)	2時間44分		令和8年4月1日 ～ 令和9年3月15日	パソコン スマートフォン タブレット	1,500人
5	子どもの「やりたい！」が発揮される環境 (3～5歳) (幼児教育の環境)	お茶の水女子大学 寄附講座教授 宮里 暁美	子どもが自ら発見し、工夫し、挑戦し、試行錯誤するその姿は目を見張るものがある。事例を踏まえ、指針や要領のキーワードと重ねて、環境が子どもの遊びを豊かにするために重要であるということを解説している。	講義＋演習(eラーニング)	2時間24分		令和8年4月1日 ～ 令和9年3月15日	パソコン スマートフォン タブレット	1,500人
6	子どもの姿に基づいた指導計画(3～5歳) (幼児教育の指導計画、記録及び評価)	神戸大学大学院 教授 北野 幸子	指導計画は子どもの「今」を捉えた記録を基に、より良い保育に向かうPDCAサイクルの中で書いていくものである。幼児教育の知識と保育の実践を結び付け、計画に活かすための手掛かりを示している。	講義＋演習(eラーニング)	2時間34分		令和8年4月1日 ～ 令和9年3月15日	パソコン スマートフォン タブレット	1,500人
7	計画・実践・振り返りの実際 (幼児教育の指導計画、記録及び評価)	株式会社保育のデザイン研究所 上席研究員 川辺 尚子	子どもの姿から何を捉え、どのように記録するのか。また記録を基にどのような保育を展開していくと、子どもが主体的に育っていくのか。事例を基に、実践的に学ぶ。	講義＋演習(eラーニング)	2時間7分		令和8年4月1日 ～ 令和9年3月15日	パソコン スマートフォン タブレット	1,500人
8	架け橋プログラム1 (小学校との接続)	白梅学園大学 名誉教授 無藤 隆	架け橋プログラムについてこれまでの幼保小の取り組みとの違いに触れながら解説している。架け橋プログラムの背景となる現状や課題、そしてプログラムの概要について丁寧に解説され、これから取り組むべき内容や取り組む際の考え方を学ぶ。	講義(eラーニング)	0時間43分		令和8年4月1日 ～ 令和9年3月15日	パソコン スマートフォン タブレット	1,500人
9	架け橋プログラム2 (小学校との接続)	國學院大學 教授 吉永 安里 社会福祉法人たちばな福祉会 保育 園 園長 坂本 喜一郎 白梅学園 名誉教授 無藤 隆	これまで幼保小接続はどのように進められてきたか、これからの幼保小の架け橋プログラム展望について、基本方針を踏まえて解説している。自施設で実践していく際、具体的な取り組みイメージを持てる内容である。ー2024年シンポジウムから抜粋ー	講義(eラーニング)	1時間25分		令和8年4月1日 ～ 令和9年3月15日	パソコン スマートフォン タブレット	1,500人

※ 保育士等キャリアアップ研修の修了証の交付を受けるためには、1～9すべての研修を受講する必要があります。